		平成 27 年 5 月 18 日 (2015 年)
吹 田 市 長	※注1 氏名 事業所	大阪府大阪市北区角町3番25号 JR西日本大阪開発株式会社 代表取締役社長 大西 邦和 (06) 6376 — 0170
事業の名称	 (仮称)吹	/田片山西商業開発
対 象 事 業 区 域	吹田市 片山町2丁目52-4	
—————————————————————————————————————		町4-1-2 御堂筋ダイビル3階
設計・代理者	株式会社プランテック総 氏 名 代表取締役副社長 原	合計画事務所 大阪事務所 田 順也
	電 話(06) —	(担当者:)
※注1	住 所	
工事施工者	(未定) 氏 名	
	電話()	
事業予定期間	平成 27 年 (2015 年	
	平成 28 年 (
	計画部	分 既存部分 合 計
	+1 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	7,005,00
	対象事業面積 7,365.00	m m m
東 娄 の 坦 塔	建 築 面 積 1,926.00	m m m 1,926.00 m
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00	m m 1,926.00 m n 2,382.00 m
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90	m m 1,926.00 m n 2,382.00 m m m
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数	m m 1,926.00 m 1,926.00 m 2,382.00 m m m m m m m m m m m m m m m m m m
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数 鉄骨	0 m² m² 1,926.00 m² 0 m² m² 2,382.00 m² 0 m m m 2 階・地下 階
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数 鉄偶地上 区分 図新築 □ 増築	0 m m 1,926.00 m² 0 m² m² 2,382.00 m² 0 m m² 2,382.00 m² 0 m m m 2 階·地下 階 0 数築 □ 新設 □ 増設
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数 鉄偶地上 区分 図新築 □ 増築 土地区画整理事業 □ 市	0 m² m² 1,926.00 m² 0 m² m² 2,382.00 m² 0 m m m 2 階・地下 階
事業の規模	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数 鉄偶地上 区分 図新築 □ 増築 区分 土地区画整理事業 □ 市	m m 1,926.00 m 0 m m 2,382.00 m 0 m m 2,382.00 m 2 階·地下 階 0 效 築 □ 新 設 □ 増 設 街 化 再 開 発 事 業 発 行 為 事 業 (目 的 :)
事業の規模	建 築 面 積 1,926.00 延 べ 面 積 2,382.00 構 造・階 数 世 上 区分 図 新 築 □ 増 築 土地区画整理事業 □ 市 市 塊 原 開	m
	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 最高の高さ 9.90 構造・階数 鉄骨地上 区分 新築 □ 増築 土地区画整理事業 □ 市 市 宅地造成□開 建築物の新築又は増改築の事	m
	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 構造・階数 鉄骨地上 区分 新築口増築 区分 新築の新築又は増改築の事 上地区画整理事業口市 定対の新築又は増改築の事 工場・事業場口住	m
	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 構造・階数 鉄帽地上 区分 新築口増築 区分 新築口増築 口 土地区画整理事業口市 日空 地 造成日開 ご建築物の新築又は増改築の事 日本・事業場日住 日本・事業場日 日本・事業場日 日本・事業場日 日本・事業場日 日本・事業場日	m
	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 構造・階数 鉄偶地上 区分 新築 □ 増築 区分 新築 □ 増築 正地区画整理事業 □ 市 定地 造成 □ 開 ご建築物の新築又は増改築の事 □ 工場・事業場 □ 住 図商業施設 □ 事 こその他(:	m
	建築面積 1,926.00 延べ面積 2,382.00 構造・階数 鉄骨地上 区分 新築口増築 区分 新築口増築 口 土地区画整理事業口市 空 地 造成口開 立場・事業場口時 口 産業物の新築又は増改築の事 口 であり、事場の これ場・事業場口 中の他(: 口 その他(: 口 ・その他(: 口 ・日本の他(: 口 ・日本の他(: 口 ・日本の他(: 口 ・日本のは、おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	m
事業の目的・内容	建 築 面 積 1,926.00 延 べ 面 積 2,382.00 最 高 の 高 さ 9.90 構造・ 階 数	m
事業の目的・内容	建 築 面 積 1,926.00 延 べ 面 積 2,382.00 最 高 の 高 さ 9.90 構造・階数 世級 区分 工場 築 面 東 成 日開 区分 工場・事業場 日 住 立 商業施設日事 日 財車場又は資材置場の新 日 おおおおおおおおままままままままままままままままままままままままままままま	The state of t

環境まちづくりの概要(1)

「基本的な考え方」

JR西日本グループは、グループー体となって地球環境保護に取り組み、持続的発展が可能な社会の 実現に貢献します。

事業者の環境方針

行動指針」

- 1. 私たちは、地球環境にやさしい企業グループを目指し、資源の適正かつ有効な活用を図ります。
- 2. 私たちは、地球環境保護のために、技術開発や創意工夫に努めます。 3. 私たちは、常に地球環境保護を意識して行動します。

当該事業における 環境まちづくり方針

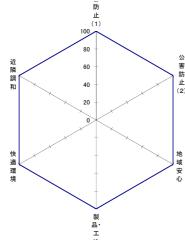
周辺環境や地域の景観に配慮し、豊かな街並みの形成に貢献します。 またリサイクル資源の有効活用や省エネ、エコロジーへの配慮した、環境にやさしい計画を目指しま

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施する・一部実施するの項目数 100 パーセント 52 (小数点第2位以下切り捨て) 該当なしを除いた項目数 52

一:方針(案)



	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
Ī	20	14	5	3	5	5
3	20	14	5	3	5	5

主な実施内容

- ・可能な限り低騒音・低振動の建設機械を用い、工事中の周辺環境への影響について十分考慮します。 ・近隣の学生が安全に登下校できるように、工事現場周辺の交通安全に配慮します。
- ・工事関係車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、出来る限り一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定します。
- ・工事予定地外周は万能板、フェンス・バリケードにて仮囲いを設置します。

環境まちづくりの概要(2)

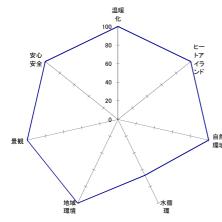
1-2. 施設・設備等

実施率 97.2 パーセント 実施する・一部実施するの項目数

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

—:方針(案)



	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方針	9	1	8	2	8	5	3
案	9	1	8	3	8	5	3

主な実施内	内容								
(1)省エネ	ルギー・俳	氐炭素なエネ	・ルギー技	術の導入		CO2削減量		t-CO2/年	
導入内容	容					※(CO2換算	算が可能な	- :設備に関して	記載くださし
						きるだけ「高す 02の排出量で		命型蛍光灯」 す。	5
(2)緑地面	i積	緑化率		%		条例基準分		%以上	
実施内	内容(緑化	:率に換算さ	れない緑	地(駐車場	易緑化∙✓	ヾランダ緑化	・花壇など)	の面積など)	
	駐車場の)一部緑化	を図ります	•					
(3)雨水利]用 下	雨水貯留量		t	う ち雨	水利用量		t	
利用目	目的	【□植栽水	くやり □トイ	(レの流しれ	k □洗車	□その他			
(4)上記以	り外の主な	実施内容							
	・歩行者 ・周辺の	が安全に通 植栽とネット	行できる2 ワークする	空間整備とる、緑豊か	して、区な環境	に配慮した計域内に歩行: を創出します 、景観まちづ	者空間を割	整備します。	

環境まちづくりの概要(3)

・設計段階から出来る限り省資源、環境負自然環境との共生を目指した取り組みを	首のは減、廃棄物の削減など	どを考慮し、	
目然環境との共生を目指した取り組みを	進めるよう努力致します。		

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

	取 組 事 項		実 施	の有	無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚	染や騒音などの公害の防止します。					
建設機	卷械					
1	低公害型建設機械の使用		実施する 実施しない		-部実施する 該当なし	低排出ガス対策型、低騒音の建設機械を使用します。
2	低燃費型建設機械の使用		実施する 実施しない		・ 部実施する 該当なし	低燃費型のハイブリットパワーシャベル等を出来るだけ使用します。
3	アイドリングの禁止		を 実施しない			排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。
4	環境に配慮した運転		実施しなし		一部実施する 該当なし	空ぶかし等を抑制した運転を行います。
5	稼動台数の抑制		を 実施しなし			規模に応じた効率的な工事計画を立てて、稼働台数を抑制します。
6	工事の平準化	_	実施する 実施しない			集中して稼働しないように、平準化を図ります。
7	機械類の整備点検	_	ミ施する 実施しない 			適切な整備点検を行います。
工事队	! 連車両					
8	低公害車の使用		ミ施する 実施しない		・都実施する 該当なし	燃費や排出ガス性能が良い車両を使用するようにします。
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守		を 実施しない	_		府条例に基づく流入車規制を、すべての車両で遵守します。
10	工事関連車両の表示		を 実施しない		一部実施する	工事関連の車両であることを車両に表示します。
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定		実施しない		一部実施する 該当なし	工事関連車両の走行レートや時間帯は、周辺の状況や住居の立地等を配慮して、出来るだけ集中する時間帯や通学時間をさけて設定します。
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制		を 実施しない		一部実施する	建設資材の搬出計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制します。
13	工事関連車両台数の抑制	☑ 美			一部実施する 該当なし	作業員の通勤、現場監理などには、公共交通機関の利用等を奨励し、 工事関連の車両台数を抑制します。
14	土砂の積み降ろし時の配慮	☑ 美			一部実施する	ダンプトラップによる土砂の積み降ろしの際は、騒音や土砂の飛散防止に配慮します。
15	カノヤ渉海	② 実	運施する		-部実施する	国切への十砂約鹿の郡勘院中のため 目地でカイヤ準海た行いすす

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
13	アイベルボ	□ 実施しない □ 該当な	周辺、Wエツ初屋の飛駅WJエのため、近地でデリビより。 し
16	ドラム洗浄時の配慮		コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮します。
17	場外待機の禁止		工事関連車両を場外に待機させません。
18	クラクションの使用抑制	□ 実施する □ 一部実施す □ 実施しない □ 該当な	クラクションの使用は必要最小限にします。
19	アイドリングの禁止	□ 実施しない □ 該当な	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。
20	環境に配慮した運転	② 実施する □ 一部実施す	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。
工事方 騒音·	法 振動等		
21	防音シートなどの設置	☑ 実施する □ 一部実施す□ 実施しない □ 該当な	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。
22	丁寧な作業		建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	□ 実施する □ 一部実施す	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用します。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☑ 実施する □ 一部実施す □ 実施しない □ 該当な	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。
粉じん	・・アスベスト		
25	解体、掘削作業の配慮	□ 実施しない □ 該当な	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に行います。
26	飛散防止対策	□ 実施しない □ 該当な	土砂等の堆積場で、砂じんが飛散するおそれがある場合は、飛散防止 対策をします。
27	アスベストの調査など	□ 実施する □ 一部実施す □ 実施しない □ 該当な	に、調査結果を近隣住民に見やすい位置に掲出し、市長にも報告しま
28	アスベストの飛散防止措置	□ 実施する □ 一部実施す □ 実施しない □ 該当な	アスベストを含有する建築物などの解体の際には、確実な飛散防止措 置を行います。
水質剂			
29	濁水や土砂の流出防止	☑ 実施する □ 一部実施す□ 実施しない □ 該当な	道路などへの濁水や土砂の流出を防止します。
30	塗料などの適正管理及び処分		塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分します。

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	土壌汚染物資の拡散防止措置		土壌調査を実施する際には、関係法令に準拠した地歴調査・土壌汚染 状況調査を実施し、汚染が判明した場合には適切な措置方法について 協議します。
32	地盤改良時の配慮		セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム 溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工します。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。
悪臭・	<u> </u>		
34	アスファルト溶解時の臭気対策		アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気 対策を行います。
35	現地焼却の禁止	□ 実施しない □ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却を行いません。
36	解体時の環境汚染対策		解体を伴う工事の際には、保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行います。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策		仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮な どにより臭気対策を行います。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	地域との連携における事故の防止		近隣自治会などから地域の交通情報の聞き取りを行い、十分な人数の 警備員を配置し事故防止に努めます。
39	児童などへの交通安全の配慮		児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮します。
40	夜間や休日の防犯対策		夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠するなどの対策を講じます。
41	児童などへの見守り、声かけ		登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。
42	地域の防犯活動への参加	□ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加します。
環境に	- 配慮した製品及び工法を採用します。		
省エオ	ベルギー 「	<u> </u>	
43	エネルギー消費の抑制		エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制します。
省資源	原 	1	
44	残土発生の抑制		建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。
45	廃棄物の減量	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	
	:環境づくりに貢献します。			
景観		- 実体ナス - 一初字体ナス		
46	仮囲い設置時の配慮		仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 します。	
		□ 実施しない □ 該当なし 		
47	仮設トイレ設置時の配慮		仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所	
	MINITED TO THE PROPERTY OF THE	□ 実施しない □ 該当なし	などを工夫します。	
周辺の	D環境美化			
		☑ 実施する □ 一部実施する	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いま	
48	周辺道路の清掃		す。	
	18.4.±++m	☑ 実施する □ 一部実施する	775-20 76-14	
49	場内整理	□ 実施しない □ 該当なし	設資材、廃棄物などの場内整理を行います。	
ヒート	アイランド現象の緩和			
		□ 実施する □ 一部実施する	夏期において水道水以外の用水が確保できる場合は、周辺道路など	
50	打ち水		を持たるが、これは小の下の市がが確保しても場合は、同位に呼ばられた方がます。	
地域と	<u> </u>			
工事記	说明・苦情対応			
E1	工事内容の事前説明及び周知	☑ 実施する □ 一部実施する	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また 工事実施を適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにし	
31	工事的各の事制就例及い向加	□ 実施しない □ 該当なし	エザ大心と地丘、死ルとう後のアととの刈りとし、柱界と行るようにします。	
		────────────────────────────────────	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦	
52	苦情対応		エ争に関している情感ロを改直し連縮元なとを拘ぶするとともに、告情が発生した際には真摯に対応します。	
周辺(D教育・医療・福祉施設への配慮			
		☑ 実施する □ 一部実施する	小丛林かじにもしてて東中佐がにて東郷亜、小衆で知ればれて八部	
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮		小学校などに対して工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にします。	
		□ 実施しない □ 該当なし	, ,	
54	騒音、振動などの配慮		小学校などに対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしま	
		□ 実施しない □ 該当なし	す。 -	
周辺の	り事業者との調整			
55	複合的な環境影響の抑制		工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の 通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域にお ける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者など と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。	

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	温暖化対策を行います。		
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示します。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネル ギー型の機器を採用します。
58	再生可能エネルギーの活用	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネルギーを活用します。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプ システムなどの導入を検討します。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置 を有する設備(空調機器、冷凍冷蔵庫など)を設置する際には、設置後 に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設 計に配慮します。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	採光や通風性の考慮や断熱性能を工場させることで、建築物のエネル ギー負荷を抑制します。
62	長寿命な建築物の施工	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工します。
63	環境に配慮した製品の採用	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を 積極的に採用します。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の 採用	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが少ない建設資材などを積極的に採用します。
ヒート	アイランド対策を行います。		
65	ヒートアイランド対策	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	建築物の屋根面等に高反射率塗料の塗布又は舗装の保水化等を実施 し、積極的にヒートアイランド対策を行います。
自然環	- 環境を保全し、みどりを確保します。		
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査を行い、動植物の生息 や生育環境に配慮します。
67	地域のシンボルツリーの保全	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、出来るだけ伐採を避け、既 存の植生や地形を活かして設計します。
68	既存の植生の保全	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表土は適切に保管し、植栽などに利用します。
69	生物の生息空間の保全	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	事業計画地に隣接する緑地などがある場合には、緑地などを連続させて配置するなど、生物の生息空間の保全に努めます。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
70	駐車場緑化	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	駐車場の緑化を行います。
71	屋上緑化など	□ 実施しない □ 該当なし	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行います。
72	法面緑化	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	開発により生じた法面に対して緑化を行います。
73	植栽樹種の選定	□ 実施しない □ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定します。
水循環	慢を確保します。		
74	水資源の有効利用	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	施設計画の中で、低コストでの水資源の活用をすることが難しいため。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施 設又は雨水浸透施設等を設置します。
76	雨水浸透への配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	オープンスペース、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性 のある舗装などの採用を検討します。
)生活環境を保全します。		
大気・	騒音·振動等 		
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし □ =	空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器 の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振 動対策を行います。
78	防音サッシの設置	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考えられる場合には、予め 窓などに防音性を考慮したサッシを設置します。
79	駐車場の配置計画時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配 置は住居に隣接しない計画とします。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口、廃棄物 置場の位置などに配慮します。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	□ 実施しない □ 該当なし	ポイラー、ターピン、エンジンなどの機器を設置する場合は、万全の排出ガス対策を行います。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制します。
83	建築資材による光の影響の考慮	☑ 実施する □ 一部実施する	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による太陽の反射光について は、設置の際に光の影響を考慮します。
84	環境に配慮した塗料の使用	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを 使用します。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	小学校などに対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしま す。

	取 組 事 項		実 施	Ø	有	無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)			
中高	中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)									
86	日照障害対策		ミ施する 実施しない			部実施する 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業 地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を 事前に把握し、近隣住民に説明しました。また、できる限り軽減を図りま した。			
87	電波障害の事前把握及び近隣説明		実施しない 実施しない			部実施する	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲 図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。			
88	電波障害発生時の改善対策	_ ^実	ミ施する 実施しなし			部実施する 該当なし	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信施設などによる改善対策 を行います。			
89	プライバシーの配慮	_ ¥	実施しない 実施しない	,\ 	_	部実施する	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれがある場合は、適切な対策 を講じるよう努めます。			
景観	 まちづくりに貢献します。									
90	地域への調和	図第	実施する 実施しない			部実施する 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮します。			
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計 画及び設計	_ \$	実施しない	, \		部実施する	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、 「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配慮した計画と設計を行います。			
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	_ ¥	連施する 実施しない	.\ .\		部実施する	景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではガイドラインなどに配慮した計画と設計を行います。			
93	景観形成地区指定の協議	_ ¥	悪施する 実施しない	,\		部実施する	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるときは、景観形成地区の 指定について協議します。			
94	景観形成基準の遵守	iş D	実施しない			部実施する該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。			
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☑ ¥	実施しない ま施しない まんしない まんしない	_		部実施する 該当なし	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しま す。			
安心	安心安全のまちづくりに貢献します。									
96	歩行者が安全に通行できる空間整備		ミ施する 実施しない	_		部実施する	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者が安全に通行できる空間 を整備します。			
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備		実施しない			部実施する該当なし	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備機器を積極的に導入し、 安心安全に配慮した適切な整備を行います。			
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	_	実施しない	_		部実施する	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行います。			